

2024.04.18.木曜礼拝「神は、その燃える炉からあなたを救い出される」

ダニエル3章

JD ファラグ牧師

一緒に祈りましょう。お父様、私たちは今夜、あなたの御名によって喜びます。私たちが集えるこの時間を心から感謝します。どうか私たちに語って下さいますように。私たちがこの3人の若者のような信仰を持つよう今夜が私たちへ励ましになるようどうか御言葉でお語り下さい。イエスの御名によって、アーメン。

アーメン、アーメン。皆さん、こんばんは。ご機嫌いかがですか？ あまり説得力がありませんけど、どうぞご着席くださいね。いやいや、来てくださり嬉しいです。オンラインでご覧の方も、大変嬉しいです。今夜の「ダニエル書3章」を、本当に楽しみにしていました。言うまでもないことでしょうけど、今夜の章は聖書の中でも最もよく知られた章のひとつで、その理由はいくつもあって、一番の理由は、預言的意味合いと個人的適応という点で、この1章に非常に多くが書かれているからです。聖句でのむち打ち症とも呼ぶべき状態、この2つの間を行ったり来たりにならないよう、最善を尽くしたいと思いますが、おまな教訓を見逃したくありません。これから祈りますけど、この2つの間には、他に良い言い方がないので、混ざり合いにバランスがあり、互いに調和がとれています。つまり、預言的意味合いと個人的適応が調和していて、織り込まれていて、それが溶け合い、混ざり合い、一体化しています。ですから最善を尽くして、あまり行ったり来たりしない、詰め込まない、早くも行かない。皆さんがむち打ち症にならないように。もしそうなら、前もってお詫びしておきます。でも私はこのことを見逃してほしくありません。すなわち、信仰によって知ること。『神は、あなたをその炎のような試練から救い出される。』しかし、問題は、それは、あなたが考えるような方法や、あなたが考える時（タイミング）、あなたが考える状況ではないかもしれません。そこが問題でしょ？ では、祈って、すぐに取り組みましょう。することがたくさんあります。一緒に祈りましょう。

お父様、本当に本当にありがとうございます。主よ、ここにはたくさんものがあります。今夜、私たちのためにご用意されているものを見逃してここを去ることのないよう、聖霊が適切に促して下さるようお願いいたします。ですから、主よ、あなただけがお出来になる通り、私たちの人生の激しい試練に関する個人的適応と、この類型の中にある力強い預言を融合させていただきますように。主よ、あなたがなさろうとしておられることを前もって感謝します。主よ、あなたのご方法で、あなたごに、あなたのご栄光のために、私たちが救い出すことがお出来になり、いつもそうして下さることを感謝します。ですから主よ、今夜のこの素晴らしい章での私たちの時間を祝福ください。イエスの御名によって祈ります。アーメン。

では、さあ腕まくりしましょう。1節、

ーダニエル 3：1ー

ネブカドネツアル王は金の像を造った。・・・

生まれ！ 2章を拝借する必要があります。これは、3章の詳細を理解する上で密接な関係があって、そのひとつが、この金の像です。すべてゴールド。それがなぜ重要なのか？ 2章でネブカドネツアルは、ダニエルだけが夢の内容を伝え、それを解釈できる夢を見たからです。それは、頭だけが金の像でした。で、ネブカドネツアルは神に反抗し、反逆して何をしたのか？ 彼はすべてが金の像を作った。今夜、この中でひとつだけ見えてくることがあります。これからそれを見ていきますが、この1節だけで、反キリストの類型です。説明します。反キリストは、キリストに敵対するだけじゃなく、反キリストは対抗し、突然、悪魔的に、キリストになり変わります。言い換えれば、ネブカドネツアルは、すべてを金で作ったこの像を置きます。神が夢で見させられた、金とはいえ、永遠に続かない自分の王国である像の代わりに、金の像を据える。ですから、彼がしていることは、その夢の像の代わりに、まるで自分の王国は永遠に続くと言わんばかりに、この金一色の像を置くのです。では、この詳細を見て下さい。初っ端からすぐに。

・・・その（像の）高さは六十キュビト、

その幅は六キュビトであった。（私の先を行かないでね。）彼はこれをバビロン州のドラの平野に建てた。

OK。再度この1節に、お付き合い下さい。現代のイラク、古代バビロンでドラの平野と呼ばれたこの場所に行けます。現代のイラクの首都バグダッドから約50マイル離れた場所です。ここがすべての舞台です。そう、この場所に行けば、そのために必要だったこの広大な平野で、考古学上の発掘品である巨大な台座のある巨像を見ることができます。この平らで広大な平野のど真ん中に、考古学的に発見された巨大な彫像があります。ダニエル書3章に書かれている通りの。どれだけ鳥肌です？ 神がそうしてくださるのが大好きですよ。ちなみに補足で言いますと、考古学者が古代文明を発見したとき、彼らが発見したものを認証、検証、または理解するためにどうするかご存知ですか？ 聖書で調べる。モルモン書には行きませんよ。いや、本当ですから。なぜなら、ご存知ですか？ ニーフアイ人（モルモン書にある）と呼ばれる民族が存在した証拠となるものは、考古学的に世界のどこにもまったくゼロ、ゼロ、ゼロ、見つからないのです。どんな認検証も見つかりません。そういう単語でしたっけ？ 認検証？ 失礼。皆さんのために2つの単語を混ぜ合わせました。1粒で二度美味しい。2つで1つ。決して証拠は見つかりません。でも彼らはクリスチャンではありません。世俗的な科学者達で、考古学者で、地質学者が、何かを発見して、「わお！！これは古代のものだ。何だろうか。」「分からない。聖書を見て調べよう。」「お～、これはダニエル書3章にあった。ネブカドネツアルが作った金の像だ。ここにあったんだ。」「ここがドラの平野なんだな。G.P.S.を出せ。」「そうだ。これだ。よし。」2節、

ーダニエル 3：2ー

そして、ネブカドネツアル王は人を遣わして、太守、長官、総督、参議官、財務官、司法官、保安官、および諸州のすべての高官を召集し、ネブカドネツアル王が建てた像の奉獻式に出席させることにした。

ーダニエル 3：3ー

そこで太守、長官、総督、参議官、財務官、司法官、保安官、および諸州のすべての高官は、ネブカドネツアル王が建てた像の奉獻式に集まり、ネブカドネツアル王が建てた像の前に立った。

これは繰り返しのようで、重複しているようにさえ思えるかもしれませんが、理由があります。その理由はすぐにわかります。皆さんに、、、ええ、毎週述べているのは分かっていますけど、私がこれを言うのに飽き飽きしないでください。でも、神に与えられた想像力を使ってそこに自分を置いてみてください。イラクを旅しましょう。お勧めしませんが、今夜の聖書の学びで私たちがそこにいるのを想像しましょう。私は、神から与えられた想像力を活かして、これがどのようなものであったのかの一種の視点を与えたいと思います。まず第一に、非常に多くの重要な役人がいます。私はこの役人のリストを読んで、このリストに何千人が含まれているのか？ これには、当時のバビロンにいた大勢の民は含まれていません。そして、この平野、、、インディアナポリス500は、世界で最も観客動員数の多いスポーツイベントだと思います。インディアナポリス500には推定35万人が集まります。航空写真を見ると、まさに人間の海。35万人。

で、ヒトラーが人間の海を前にしている古い白黒映像を知ってるでしょ。つまり、見渡す限り、目にするのは、、、私が何を話しているか分かりますね？ 非常に高い壇上に間違いなくサタンが憑依したヒトラーがいて、彼は演説している。そして、人々は皆、そう人間の海です。それがここにあるものです。繰り返しますが、これは、これから見るものを理解する上で重要です。4節、

ーダニエル 3：4ー

伝令官は力強く叫んだ。「諸民族、諸国民、諸言語の者たちよ。あなたがたはこう命じられている。

では次の5節は、よろしければ、1900年欽定訳聖書から読みたいと思います。いいですか？ それには理由があります。

ーダニエル 3：5ー（欽定訳直訳）

あなたがた全員、コルネット、フルート、ハーブ、三角琴、プサルテリ、ダルシマー、（以上6楽器）の音を聞いたら、ひれ伏してネブカドネツアル王の立てた金の像を拝まなければならない。

なぜ私は新欽定訳聖書（新ジェームス王訳）から離れ、欽定訳聖書（ジェームス王訳）に移ったのか？ これは先週話したようにアラム語だからです。6つの楽器のうち3つは、アラム語の名称がつけられたギリシヤの楽器です。これらの特定の楽器のリストに関して、翻訳にばらつきが見られるのはこのためです。しかし、60x6の像に、6つの楽器があることを指摘したいのです。それを覚えておいてください。これは「黙示録 13:18」です。獣の像、獣の像への崇拜を要求するもので、獣の像とは人の像で、人間を表す数字です。人間を表す数字は、6です。だから彼の数を思慮ある者はその数字を数えなさい。言い換えれば、反キリストが誰なのかを知り、見極めるためには、いくつかの計算が必要ですが、この類型を見ればわかるように、彼は自分の名前に6、6、6の数字を持ちます。いいですか？ 覚えておいて下さい。6節、

ーダニエル 3：6ー

ひれ伏して拝まない者はだれでも、（これ留意→）即刻、火の燃える炉に投げ込まれる。」

では、質問があります。誰かがひれ伏さなければ、、この人間の海の中で、楽器の音が聞こえて、ひれ伏して崇拜しないなら、、ところで、音には力がありますよ。催眠的で旋律的で、非常にパワフルです。神は私たちが音楽のために創造されました。そして音楽は脳と気分を変えられます。あなたは経験することができます。こんにち、色んな教会に行けば、そういう教会は問題なく見つかるでしょう。音楽がゆえにそういう経験ができます。あなたは感動するでしょうが、養われません。魂は動かされるけれど、霊は養われません。音楽の力を過小評価してはいけません。その話には行きません。前に話しましたから。それを考慮に入れて、その楽器団の人数を想像してほしいのです。間違いなく完璧な演奏。それはどれほど、信じられないほどパワフルだったのでしょうか？

で、質問は、私の質問は、ひれ伏して礼拝しない者は、即刻燃える炉の中に投げ込まれるのなら、燃える炉はすでに燃え上がっているのでは？ でないと、即刻とは言わず、その代わり、炉の準備と加熱が整い次第、その者は、燃え盛る火の炉の中に投げ込まれると言ったはずですよ。いやここでも、神から与えられた想像力が大いに役立つところで、なぜなら、私が見ているのは、9階建ての高層ビル（像）と、この広大な平原と、この人間の海だから。これが、あなたはこれを見て、見上げて、で、今、『燃える炉がある』と言われた。周りを見渡して、「どこ？ あ、あそこにあった。もう準備されている。」そう、それがインセンティブ・動機付けです。脅しとも言います。多くの人の頭の中で、「これは間違いない。ちょっと待って。私にあるのは二者択一。ちょっと待って。私にあるのは二者選択。一回だけひれ伏して、カエサルは主だと、ほんのちょっとお香をあげるだけ。大丈夫。ただ6つの楽器が鳴ったら、60x6の像に、ひれ伏して、崇拜するだけ。それでいいんだ。やればいいんだ。それをするのか、それとも、死ぬのか。あそこの炉で。というのも、すでに熱が入っていて、即刻放り込まれるから。ただちに燃え盛る火の中に投げ込まれるために。」

美しく、心地の良い、暖かい暖炉を思い浮かべないでください。これは巨大な炉、、中には絶対入りたくない炉です。いいですね？ 想像してみてください。この瞬間がどれほど強力か。これが実際に起こりました。また、考古学的な証拠もあります。それは必要ありません。神がそう仰ったら、決定です。それが起こりました。では、7節、

ーダニエル 3：7ー

それで、すべての民が角笛、二管の笛、豎琴、三角琴、ハープ、および、もろもろの楽器の音を聞いたとき、諸民族、諸国民、諸言語の者たちは、ひれ伏して、ネブカドネツアル王が建てた金の像を拝んだ。

OK。ナチス・ヒトラーの人間の海の白黒映像に戻りますよ。音楽が流れているのを想像ください。誰もがひれ伏す。あの人間の海を全部見て、ボン！ ひれ伏す。3人以外が。目立つと思いますか？ その圧迫感はどうですか？ 彼らの、です。そう、ご存知あの実験。ちょうど牧師集会でこの話をしていたのですが、生徒を使った、仲間からの威圧の力の実験です。それで先生が、、例として、この実験にはバリエーションがあって、ちなみに、実話ですが、黒板に、2+2=5と書きます。この実験に参加した生徒は全員手を挙げます。実験に参加している一人の生徒を除いて。彼はクラスメート全員を見回すと、全員が手を挙げている。

2+2=5 その一人は、（え？）（いや、そうじゃない。）想像ください。ええ、私自身について話します。皆さんは私よりずっと霊的ですから。でも、私は心の中で考えます。私はその一人にはなりたくない。彼ら

全員が、彼をこんな目で見るとように指示されていたのです。「なぜ君は手を挙げないの？」

「僕が手を挙げないのは、頭がおかしいと言われようが、 $2+2$ は 5 にはならないもん。みんな手を挙げていて、僕だけ挙げない。僕ははみ出して、目立って、真実のために立ち上がっている。 $2 + 2 = 4$ だよ。」

そして、彼らはあなたを凝視し、睨みつける。あなたはこんな風に、手を挙げかけて、、、でも挙げない。それが、これから見るシャデラク、メシャク、アベデ・ネゴです。その何倍、何万人、何十万人がいて、ひれ伏して、金の像を崇拜しています。

ーダニエル 3 : 8ー

このため、この機会に、あるカルデア人たち

(彼らを覚えていますか?) が進み出て、ユダヤ人たちを中傷して言った。あ〜 私は、彼らがまだこの若者たちに不満を持っていると思います。ダニエルが夢を言い当てただけでなく、夢の解釈もできたから。自分たちは、ベジタリアンになり、プライムリブやすべてのごちそうを食べられなくなったのも彼らのせいだから。それで、その3人は昇格もした。これは嫉妬の典型です。そして憤慨しています。昇進もしたから。カルデア人でもなく、ユダヤ人が。ネブカドネツァルは彼らを昇進させた。今や僕らはひれ伏しているのに、彼らはひれ伏さない。それで彼らは、3人を非難し始めた。

ーダニエル 3 : 9ー

彼らはネブカドネツァル王に告げた。

(ここで何かに留意くださいね。)

「王よ、永遠に生きられますように。」

なんて独創的なのでしょうか。もちろんあなたは王にそう言うでしょうね。

ーダニエル 3 : 10ー

王よ。王は『角笛、二管の笛、豎琴、三角琴、ハープ、風笛、および、もろもろの楽器の音を聞く者は、すべてひれ伏して金の像を拝め。』

ーダニエル 3 : 11ー

ひれ伏して拝まない者はだれでも、火の燃える炉の中へ投げ込め』と命令されました。

「そうだ。それで？」

ーダニエル 3 : 12ー

あなたがバビロン州の行政をつかさどらせた何人かのユダヤ人がおります。シャデラク、メシャク、アベデ・ネゴです。王よ。この者たちはあなたを無視して、あなたの神々に仕えず、お建てになった金の像を拝みもいたしません。」

言い換えると、「私たちが手にするはずだった昇進を、あなたは彼らに与えられました。そして今、これが彼らによるあなたへの感謝のしかたです。王よ、永遠に生きられますように。」

「あなたは昇進させた。昇進させる相手を間違えた。王よ、永遠に生きられますように。」

「僕たちが、昇進するべきだったんです。僕たちはカルデア人、彼らはユダヤ人。そして、あなたは彼らを昇進させられた。」

会社という場では、自分より資質が低く、自分より確実に若い者がいるものです。おお、ちなみに、それは可能です。これについては議論がありますが、2章と3章の間には11年の歳月が流れています。ですから、2章でダニエルが15歳、シャデラク、メシャク、アベデ・ネゴが同じような近い年齢だったなら、彼らは今

30歳、30代前半です。もし11年が経っているなら、、いや、違いますね。待って、やり直させて。もう一度言わせて下さい。またしても、長い一週間だったの。まだ木曜日ですよ！！では、彼らは20歳代後半ですね。よし、よかった。私たち大丈夫ですね。許してくれる？よかった。私の計算ミス。

反キリストが誰なのか、私には決してわかりません。知りたくないし、知る必要もありませんが。ではとにかく、彼らは20歳代後半です。まだ若い。なぜそれを言うのか？ユダヤ人を非難し、昇進したユダヤ人に嫉妬しているカルデア人についてを知らなければならないから。彼らは自分の祭壇を手に入れるべきだと思っていたから。では、これを視野に入れて、職場に戻りましょう。あなたはこの男の下で15年間働いてきた。そして、ここに若い新人がやってきた。このちょっと気取ったやり手の若いカウボーイ。悪い言葉ではありませんよ。若造、みたいなものでしょ。スペイン語で。ふ！それらの言葉には注意した方がいいですね。彼らは、あなたが得るべきだった仕事を取った。あなたの方が年功序列で、資格もあるし、勤続年数も長い。彼は君の民族の一人ですらない。彼はよそ者だ。地元でもないしね。やりすぎです？皆さん、想像できますね？私が言いたいのは、カルデア人は彼らをこう見ていたということ。彼らを憎んでいた。軽蔑していた。そして今、彼らの仕事を得る絶好の機会を得た。「そもそも、私が得るべきだったのだ。」聞いて下さい。これは、、他に適当な言い方がないので、フツパー（Chutzpah）！なんと大胆な！フツパーってご存知ですか？これはとても度胸がいらいます。「あなたが私たちの上に昇進させたあのユダヤ人！！王よ、永遠に生きられますように。それでこれが彼らのあなたへの態度ですか？彼らは、あなたの像にひれ伏すことに、正当な敬意を払っていない。」それは効果がありました。13節、なんとということでしょう。

ーダニエル 3：13ー

ネブカドネツアルは怒り狂い、シャデラク、メシャク、アベデ・ネゴを連れて来るように命じた。

（これは興味深いです↑）それでこの三人は王の前に連れて来られた。なぜ興味深いのか？なぜなら、ネブカドネツアルが彼らの素性を知らなければ、彼らは王のもとに連れて来られなかったでしょう。彼らは即時に燃える炉に投げ込まれたでしょう。ですから、何が起きているのか？そう、ネブカドネツアルは、この3人を覚えているのです。「ちょっと待て。私は彼らを昇格させた。なぜ私が彼らを昇格させたか、なぜあなたたちを昇格させなかったのか、よく分かっている。」

「いいか、私は彼らを炉の中に放り込みたくない。まだだ。彼らにセカンドチャンスを与えたい。」神の御手はこのすべてに及んでいます。それで3人が来ます。想像してみてください。ネブカドネツアルを恐れて、震えている彼らを想像しないでください。もしそうだとしたら、彼らはただひれ伏したでしょう。もしそうしなければ起きることへの恐れから、うずくまり、ためらったでしょう。彼らは王を恐れていません。彼らは神を畏れています。私が想像する3人は、これについてももう片方の極端な話に行きたくありませんが、彼らは凜として、王のもとへと歩いていく。彼らはどんな困難や大きな圧力にも負けず、ただ神に従ったからです。彼らはネブカドネツアルのもとに連れて来られた。ネブカドネツアルは、14節、

ーダニエル 3：14ー

ネブカドネツアルは彼らに対して言った。・・・

「本当か。」王は実際に、告発や疑惑があったとき、私たち一人ひとりに尋ねるべきことを彼らに尋ねているのです。私は新約聖書の聖句について考えます。実際、すべてのことは二人以上の証人の立会いのもとに立証されるべきである、と聖書に数多く書かれています。（マタイ18：16参照）

二人以上の証人がいない限り、長老に対する訴えを受け入れてはならない。（1テモテ 5：19参照）

つまり、王は彼らの告発を鵜呑みにしているわけではありません。彼らに下心があることを知っているから。彼らはユダヤ人を追い出して、自分たちが入れるようにしたいのです。もちろん彼らはそう目論みますが、ネブカドネツアルはバカではありません。バカが、世界の権力者になれません。この人物は頭が良い人です。もう一度だけ言いたかったんです。これ以上言わないつもりですけど。そう。彼の名誉のために言いますが、これは知恵です。「私は本人たちの口から聞きたい。お前たち、本当なのか？

・・・シャデラク、メシャク、アベデ・ネゴよ、おまえたちは、私の神々に仕えず、私が建てた金の像を拝まないというのは、本当か。」

この作られた像は、戦いの神マルドゥーク神だと信じられているようです。しかし、現実にはネブカドネツアルで、これは彼の神の像ではありません。ネブカドネツアルは自分の目に自分が神だと映っているからです。だから、王は彼らに、これは彼の名誉のためです。

「それは本当なのか？ 今回のケースのように、不当な裁きと罰になる前に、私は、いわば無実の人間に判決を下していないことを確認したい。」

ここでセカンドチャンスがきます。「もしその時にお前たちの準備ができれば、もう一度やりなおそうじゃないか。私はお前たちにセカンドチャンスをやります。これは単なる誤解に違いない。あの人間の海の中で3人だけがひれ伏さないなど。きっと、何か行き違いがあったのだろう。だから改めて試そう。そのときお前たちに準備ができていれば、フルート、ハープ、三角琴、プサルテリ、ダルシマーが鳴って、お前たちがひれ伏して、私が造った像を礼拝するならそれで良い。」訳せば、「そうすればいいのだ。もう一度チャンスをやろう。やり直しの機会を与える。私の言っている意味がわかるなら、おそらく、そうするのがいい考えだろう。わかったな？ 準備はいいか？」私は王の尋ね方が好きです。15節、

ーダニエル 3：15ー

今、もしおまえたちが、(角笛、二管の笛、豎琴、三角琴、ハープ、風笛、および、もろもろの楽器の音を聞いたとき、ひれ伏して、私が造った像を拝むなら、) **それでよい。・・・**

王はさらに、その像から火の燃える炉へと、彼らの目を向けさせようとしています。

・・・しかし、もし拝まないなら、おまえたちは、即刻、火の燃える炉の中に投げ込まれる。・・・

王が指を指しているのを想像します。そしてここが非常に興味深い箇所です。これはネブカドネツアルがシャデラク、メシャク、アベデ・ネゴに尋ねています。

・・・どの神が、私の手からおまえたちを救い出せるだろうか。」

王はこんな風に低音ボイスで唸って言いました。ー(笑)ー 今夜の章が終われば、分かるでしょうね。ネブさん。16節です。私はここが大好きです。

ーダニエル 3：16ー

シャデラク、メシャク、アベデ・ネゴは王に答えた。「ネブカドネツアル王よ、このことについて、私たちはお答えする必要はありません。」

意味は、私たちは考えを変えません。オーケストラはいりません。時間を無駄にしないでください。邪魔はしません。必要ありません。必要ありません。

ーダニエル 3：17ー

もし、そうなれば、私たちが仕える神は、火の燃える炉から私たちを救い出すことができます。王よ、あなたの手からでも救い出します。

彼らは、「王よ、永遠に生きられますように。」とは言いません。わかりましたか？ よかったです。待って。ふ～！ ホットスポットについてと言ったら！ う、うん、何？ このことが起きた時、ラクダの上のハエになってその近くにいたかった。王がどんな表情だったか想像できますか？ (は～???)

「待て。お前たちにチャンスを与えてやっている。セカンドチャンスだ。」「いえ、いえ。必要ありません。」「オーケストラを準備させてある。私には指を鳴らす必要もない。(地元民がしているように、) 眉を上げれば、、、演奏が始まる。拝め。準備はいいか？」

「いえ、いえ、必要ありません。必要ありません。」なぜ必要ないのか？ 理由は、

「私たちの神は、私たちは自分を神だと考えるあなたに従うために、私たちの神に背いたり、あなたの神にひれ伏して拝むつもりはないからです。いいえ、私たちは私たちの神に従います。」

「使徒の働き」に書かれていることで、これについては何度も話してきました。政府に従うために神に背かなければならない決断を迫られた時、誰に従うことになるのか？ まあ、決めつけるべきではないと思います。あなたのことを言っていないけど、驚愕します。何が起こりましたか？ 今から4年前、

「おお、私たちはこの国の法律に従う。ネブカドネツアル王の法に従わねばならない。それは法だ。これは勅令であり、ひれ伏せという命令だ。」「いいえ、できません。」彼らは以前にも同じことをしました。偶像に捧げられた食べ物やご馳走すべてを、彼らは王の要求に強いられ、ひれ伏し、萎縮し、怯むことを拒否しました。自分たちの神に背くことになるからです。ここでサッとお伝えし、次に進みます。これは彼らがその場で決めたことではありません。それでは遅すぎます。ヨセフについて考えます。彼はすでに心の中で、何があっても神に従おうと心に決めていました。ポティファルの妻が彼を毎日誘惑した時、これらのことが起こった時、彼はすでに心を決めていました。彼の心はすでに決まっていた。不動、不変、交渉の余地なし。基本的に彼らが言っていることは、

「王よ、あんた！ いいえ！ 私たちは考えを変えません。」これが理由です。何が起ころうとも、あなたは心ゆくまで私たちを丸焼き地獄に放り込んでも構いません。このすべての終わりに、私たちはあなたから救い出されます。丸焦げにされようとも、それでもあなたから救い出されます。もしくは、そうでなくとも。」しかし、もしも救い出されなくても、これが鍵です。神は可能であります。おできになります。それは問題ではなく、問題は、神はおできになるか、ではなく、神はなされるであろうか。それが神の御心かどうか、です。ここ18節の最初の3語、この表現は使いたくありませんが、他にいい表現がないので、私たちが人生で非常に辛い試練を経験する時、私たちの人生のその時、それを理解するのが鍵です。神はおできになります。しかし、神の御心とは何か？

「神よ、あなたがおできになるのはわかりますけど、あなたはおできになる。ではなく、あなたがなさるのは、私の意志ではなく、あなたの御心通りになりますように。」

これは「ヨブ記」同様です。「神が私を殺しても、私は神を待ち望む。」(ヨブ 13：15 参照)

これは「エステル記」同様です。「私は死ななければならないのでしたら死にます。」(エステル記 4：16 参照)

私は主の御名を讃えます。私は主に信頼します。主は私を救い出されます。どのようにはわかりません。方法はわかりません。いつかはわかりません。私はただ信仰によってわかります。主が私を救い出してください。

「しかし、たとえそうでなくても、」(ダニエル 3：18 参照)

この方法でなくても、それでも主は私を救い出してください。私たちは決してあなたの神にひれ伏しません。私たちは決して屈しません。想像してみてください。それがどれほど簡単なことか。

「それをするだけ。しなさい。それをするだけだ。死にたいのか？ あなたは死を望むのか。」

なんという死に方でしょう。生きたまま焼かれる？ ネブカドネツアルは不満です。19節で語られます。

ーダニエル 3：19ー

すると、ネブカドネツアルは怒りに満ち、シャデラク、メシャク、アベデ・ネゴに対する顔つきが変わった。彼は炉を普通より七倍熱くするように命じた。

これは以下のことを意味します。シャデラク、メシャク、アベデ・ネゴの3人は、ネブカドネツアルの目に好意的に映っていました。王は彼らに、おそらく大変礼儀正しく話していました。

「君たち、こっちに來て話し合って解決しよう。もう一度チャンスを与える。すぐに拷問にかけない。私は君たちが好きだ。私は君たちを昇格させた。さあ、解決しよう。」

王は親切に話します。「仲良く、仲良く。」そして、彼らは王にそれを言いました。王は表情を一変させます。これです。7倍です。それに留意ください。つまり、「6」が3つに「7」が1つです。いいですか？

ーダニエル 3：20ー

また彼の軍隊の中の特に力の強い者たちに、シャデラク、メシャク、アベデ・ネゴを縛って、火の燃える炉に投げ込むように命じた。

ーダニエル 3：21ー

三人は、上着や下着やかぶり物の衣服を着たまま縛られ、火の燃える炉の中に投げ込まれた。

注意。これは即座にです。覚えていますか？ 準備もなく、着ているものもお構いなく、縄で縛り上げられます。

「(彼らは) 火の燃える炉の中に投げ込まれた。」(ダニエル 3：21 参照)

ーダニエル 3：22ー

王の命令が急であり、・・・

今すぐこれをしろ！！

・・・炉が非常に熱かったので、・・・

私はこれを最大限にし、7倍熱くしたいからだ！！

・・・その炎はシャデラク、メシャク、アベデ・ネゴを (注目 )

) 持ち上げた者たちを焼き殺した。

あなたがその日、当直というのはどうです？ 粗野な言い方だったらごめんなさい。本物の人間です。この火は、、、この詳細も含まれています。この状況の激しさを十分に理解するために私が考えるには、この火は非常に熱く、彼らを縛り上げ火の中に投げ込む男たちが、生きたままその場で火に焼かれました。これは熱い。本当に熱すぎる。

ーダニエル 3：23ー

この三人、シャデラク、メシャク、アベデ・ネゴは、縛られたままで、火の燃える炉の中に落ちて行った。

再度、この言葉です。「火の燃える炉の中に」さて、再度、神から与えられた想像力を使ってください。彼らは縛られ、動けません。彼らは、男たち、その場で焼き殺される男たちに担がれ運ばれ、縛られ、頭から火の炉に投げ込まれます。あなたは彼らがこう言うと思います。「これでおしまいだ。」彼らを投げ入れた男たちが焼け死ぬなら、間違いなく、彼らもすぐに焼け焦げてしまいます。そして、24節を読むと、これに質問があります。ネブカドネツアル王が見ていたのは当然だからです。王は立ち上がって、

「よし。彼らはそこにいて死んだ。気の毒だ。誰か当番交代だ。」と言って立ち去る。いいえ、立ち去りませんでした。王は、見ていたのです。こう語られるからです。

ーダニエル 3：24ー

そのとき、ネブカドネツアル王は驚いて急に立ち上がり、

(想像してください。びっくりして聞きます。)

顧問たちに尋ねた。「われわれは三人の者を縛って火の中に投げ込んだのではなかったか。」彼らは王に答えた。(本当だ!)

「王様、そのとおりでございます。(王よ、永遠に生きられますように。)」 「はい、私たちは放り込みました。」王は実際こう言います。

「ちょっと待って。お前たち、シャデラク、メシャク、アベデ・ネゴ3人だけだな?」「そうです。なぜ聞かれるのです?」

ーダニエル 3：25ー

すると王は言った。「だが、私には、火の中を縄を解かれて歩いている四人の者が見える。・・・

待ってください。ふっふっふ〜。「縛られていると思ったが。」彼らはもう縛られていません。彼らは縄が解かれています。ここが重要です。サッと。時に神は、私たちが試練の火の炉に行かせる必要があると判断されます。私たちが縛る縄を焼き払うため以外に理由がないからです。それが目的です。彼らは今、縛られた縄が解かれているだけでなく、火の中を歩いています。「私は自分の目が信じられない。歩いている。ちょっと待て。」まず第一に、これは物理的にデカいに違いありません。彼らは縛られ、逆さに、頭から放り込まれました。そして、今、彼らは、彼らはもう縛られていません。火の試練が私たちが縛るものを焼き払うからです。今、彼らは縛られておらず、逆さではなく、歩いています。歩き回っています。私ならこうでしょう。隅っこで丸くなって、「まだ生きている、焼かれていない。縛られていた縄も、もうないよ。」そこで燃えてしまいました。実際、燃やされたのはそれだけでした。これに注意してください。ネブカドネツアル王はこう言います。「彼らは何の害も受けていない。」(ダニエル 3：25参照)

おお〜、あなたが今、試練の中にいても、何の害も受けません。神はあなたを傷つけたり、害をお与えになりません。主はあなたのために将来の計画と希望を用意し、あなたを傷つけません。(エレミヤ 29：11参照)

これが敵のすることですね？ 敵が来ます。あなたは試練にいます。あなたはこうなる。「神が私を罰してお

られる。神は私にいかっておられる。神は私に怒っておられる。この件で、神は私を本当に苦しめられるんだ。」違います。あなたは無傷でここから出ることができます。ここで、ネブカドネツアルは、驚いたというのはいさめな表現です。王はこう続けます。

「火の中を縄を解かれて歩いている四人の者が見える。しかも彼らは何の害も受けていない。」

(ダニエル 3 : 25 参照)

逆さどころか、怪我もしていないし、そんなものは何もない。

・・・**第四の者の姿は神々の子のようにだ。**」

だって、それはその通りだから。神のひとり子、神の御子、イエス・キリストであられるからです。待ってください。イエスはまだ処女降誕さえしておられません。キリストがベツレヘムで誕生する前に現れることを「キリストの顕現」と呼びます。旧約聖書には至る所にあります。そこにイエスがおられます。その火の中で、七倍も熱い炉の中で。イエスは、あなたの火の試練のただ中で、あなたとそこで共におられます。イエスはあなたと共にその中におられます。イエスはあなたのためにおられます。ここで興味深い可能性を提示します。言及はありません。仮定です。確実な言及はありませんが、シャデラク、メシャク、アベデ・ネゴは、イエスがそこにおられるのを知っていました。それについての言及はありません。詳細が満載の章に、その特別な詳細がないのが目立ちます。

なぜそれを指摘するのか？ 時には火の試練の中にいる時、イエスがそこにいるようには見えません。しかし、主はおられます。あなたはイエスが見えないかもしれません。しかし、イエスはそこにおられます。そのど真ん中に。

「わたしは決してあなたを見離さず、あなたを見捨てない」(ヘブル 13 : 5 参照)

イエスはいつもあなたと共にいてくださいます。「わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたと共にいます。」(マタイ 28 : 20 参照)

そしてさらに奇妙になります。

ーダニエル 3 : 26ー

それから、ネブカドネツアルは火の燃える炉の口に近づいて言った。・・・

OK。あなたはバカじゃないと思いました。(バカというのは)これが最後です。私だったらそんなことはしません。男たちは焼かれました。あなた、そこに行くの？ 好奇心は身(直訳：猫と王)を滅ぼします。そこはそのような感じですけど、王は行ったと思います。王は賢いから、近づきすぎではいけないとわかっています。彼らと話すのに十分な距離に。

・・・**言った。「シャデラク、メシャク、アベデ・ネゴ、いと高き神のしもべたちよ、**

おお～！！！！

・・・**出て来なさい。」**

聞いてください。前にも述べたことがありますけど、私がシャデラク、メシャク、アベデ・ネゴなら、こう言います。「ネブさん、大丈夫です。私は出ません。イエスがここにおられます。だいたい、そもそも私をここに放り込んだのはあなたですよ。考えがあります。あなたがこっちに来たらどうですか？それいかが？」

私のために祈ってください。私のようにそう考える人は他にもいます。「出てきなさい。一体全体？」

王はそこで何が起きているのか知りたいのだと思います。王は彼らがこの4人目の人物を連れてくることを想定していると思います。王は神の子のような人物に会いたいからです。そう、それは神の子です。

・・・**そこで、シャデラク、メシャク、アベデ・ネゴは火の中から出た。**

ーダニエル 3：27ー

太守、長官、総督、王の顧問たちが集まり、・・・

ほお、何が起きている？

・・・三人を見たが、・・・

注意して聞いてください。

・・・火は彼らのからだに及んでおらず、・・・

おお、もう一度、火のような試練は、あなたには何の力もありません。これはいかがですか？

・・・髪の毛も焦げず、・・・

試練の中にいる時、神はあなたの髪が1本も落ちることも許されません。私のケースを除いて。神はあなたの髪を数えておられます。火はもうあなたには無力です。髪の毛（1本）も焦げず、「彼らは何をしたのか？ 検査するみたいに、髪を見せて。あなたを見てみよう。くるっと回って。火傷の跡がないのはよくわかる。どこにも。でも、まだ眉毛もまつ毛も髪もある。腕の毛も。ロウソクに火を灯す時さえ、、、ボ！ほお、わお、こうなるのに。」腕の毛がある人のために。ない人は、忘れてください。で、それだけでなく、

・・・上着も以前と変わらず、火の臭いも彼らに移っていなかった。

再び、質問です。彼らは何をしたか知りたいです。上から下まで、クンクン。(匂いを嗅ぐ)「わお、お前たち、火の中にいたような臭いもしない。」バーベキューをすると、バーベキューの匂いがしますね。髪にもつく。髪があれば。あなたの服にもつきます。彼らにはその匂いもありません。火の痕跡はありません。何も。ありません。火や煙の匂いもしません。

ーダニエル 3：28ー

ネブカドネツアルは言った。・・・

ここで興奮しすぎないでください。来週はこれを見ます。台無しにたくありません。ネブカドネツアルです。

・・・「ほむべきかな、シャデラク、メシャク、アベデ・ネゴの神。神は御使いを送って、・・・

私たちはあなたにそう言ったでしょ！！

・・・このしもべたちを救い出された。・・・

主は私たちを救ってくださいます。ここでネブカドネツアルは、

・・・このしもべたちを救い出された。王の命令に背いて、(私もでしょう。王よ、永遠に。)自分たちのからだを差し出しても神に信頼し、・・・

そこで止めます！「ローマ人への手紙」12章1節と2節です。

「あなたがたのからだを、神に喜ばれる、聖なる生きたささげ物として献げなさい。」(ローマ 12：1 参照)

これが神の完璧な御心です。「この世と調子を合わせてはいけません。」(ローマ 12：2 参照)

この世の神々にひれ伏してはいけません。心を新たにすることで、自分を変えていただきたいなさい。(ローマ 12：2 参照)

調子を合わせてはいけません。群衆に従ってはいけません。圧力が大きいのは分かりますけど、合わせてはいけません。それをするのは、みんながしているからするのです。違います。彼らは身体を捧げたのです。聞

いてください。私たちは自分の体を生きたささげ物として捧げ、死んだささげ物、死、犠牲ではありません。死んだ生贄は抵抗しません。彼らは死んでいます。生きたささげもの、違う話です。生きたささげ物は、自分を生きたささげ物として捧げます。自分の体を捧げ、自分を祭壇に置きます。

・・・自分たちのからだを差し出しても神に信頼し、自分たちの神のほかはどんな神にも仕えず、また拝まないこの者たちを。

留意ください。「自分たちの神」ネブカドネツアルはまだ少し苛立っていたと思います。

ーダニエル 3：29ー

それゆえ、・・・

この男には、何かがあります。

・・・私は命令する。諸民族、諸国民、諸言語の者のうち、シャデラク、メシャク、アベデ・ネゴの神に対して不敬なことを口にする者はだれでも、八つ裂きにされ、その家はごみの山とされる。・・・

OK。聞いてください。少し落ち着いてください。いいですか？ どうしたのですか？ 人を叩き切るのが好きなだけですか。どうしたのですか？ 彼らの家を燃やし、取り壊し、灰の山にする。私たちは、人々がその方法で私たちの神を礼拝することを望みません。あなたたちがする方法を強制してほしくありません。あなたは、神では全くない自分たちの神々を礼拝することを人々に強要します。私たちの神ではそうではありません。私たちの神が礼拝されるのは、私たちが神を愛し、神に従うからです。ネブカドネツアルは強硬手段を取り、この命令を下す理由は彼らの神について悪口を言うことで、その者たちを八つ裂きにする。 「お前を八つ裂きにして、アパートを燃やす。」なぜ? (注意して聞いてください。)

・・・このように救い出すことのできる神は、ほかにないからだ。

その通りです。私の神は、何があってもその火のような試練から私を救い出してくださいます。必ず、問答無用で。唯一の質問は、その方法と手段、いつなのか、です。神が私を救い出してくださるか疑問はなく、私は神が私を救い出してくださると知っています。ネブカドネツアルよ、あなたが自分の告白によって認めました。このように救い出すことのできる神は他にいないと。そして彼らはもう1つ昇進を受けます。あなたは、あのカルデア人が分かるでしょ。今、彼らは憤慨しています。

ーダニエル 3：30ー

それから王は、シャデラク、メシャク、アベデ・ネゴをバビロン州で栄えさせた。

OK。まとめましょう。2章の最後の部分を思い出してください。ダニエルがすべての占星術師、呪法師、呪術師、カルデア人に勝って昇進した時、ダニエルは彼らのすべてを監督し、昇進し、賞賛され、ネブカドネツアル王に次ぐ最高の地位に就きました。それについては先週話しました。しかし、ダニエルはシャデラク、メシャク、アベデ・ネゴのためにもこの昇進を得ました。ネブカドネツアル王の次に高い地位ではありませんでしたが、彼らは尚も昇進しました。なぜそれを強調するのか？ 理由は、ダニエルはどこですか？

彼がそこにいません。個人的適応と預言的意味合いとの融合が、大変美しいのはここです。はい、神はあなたをその試練から救い出してくださるからです。今夜ここにいるか、あるいはオンラインで見ている人で、人生の試練を経験しているなら、私はあなたを励ましたいのです。神はあなたを救い出され、神はあなたを見届けられます。元気を出して下さい。それは当然です。しかし、それだけではありません。ダニエルは炉の前に、称賛され高い地位に引き上げられ、そこにはいません。ダニエルはそこにいません。もしそこにいたら、彼はひれ伏すのに従わないからです!! もしも～し。ですから、彼はそこにいません。しかし、なぜシャデラク、メシャク、アベデ・ネゴはそこにいるのか？ 彼らも昇進しました。はい。しかし高い地位に上げられ、連れ出されませんでした。そこではありません。ですから、ダニエルは教会、「7」年間の患難時代前の教会携挙の描写です。ネブカドネツアルは炉の熱さを3.5倍にはしませんでした。違います。7倍です。ダニエルは、7年の患難時代前の教会の型です。シャデラク、メシャク、アベデ・ネゴは、7年の患難のど真ん中で救われるイスラエルの型です。彼らが真の救世主イエス・キリストについて救いの知識を得

る時の。彼らは、この偽キリストがキリストではないことに気づきます。本物のキリストは、礼拝されることを要求するような忌まわしいことを決して表明しないからです。「私を崇めよ、私の像を。拝まないなら、火の炉ではなく、斬首だ。いずれにせよ、あなたは死ぬ。」

獣の像。ネブカドネツアルの像、666。キリストに成り代わる人物、反キリストの数字。「ダニエル書」に描かれる教会、患難前携挙、7年の患難時代、イスラエルは患難時代に入り、患難の真っ只中で救われます。患難時代の目的はユダヤ民族の救いのためだからですちなみにいつ、ユダヤ人ははっきり気づくのですか？

「ちょっと待って。この人物は救世主ではない。私たちは騙され、欺かれた。」

「ダニエル書9章27節」が決定打です。イエスが「マタイの福音書24章」でダニエルを参照なさっている際、

—マタイ 24：15—

それゆえ、預言者ダニエルによって語られたあの『荒らす忌まわしいもの』が聖なる所に立っているのを見たら

それはいつ起こるのか？「ダニエル書9章27節」の、7の期間、多くの者との7年間の契約。あなたは7年間逃げられません。6年じゃなく、8年じゃない。もう終わるので、時計を見ないでね。8時は過ぎてますって。軽く8時半はね。もう締めくくります。これにはそれだけの価値がありますよ。

7年間。7年間の中間時点で、7倍燃え盛る炉のど真ん中で、反キリストは神殿に像を建て、自分こそ神として崇拝されることを要求します。それがその3年半の時点、まさにその時点で、、、叫んでごめんなさい。まさにその時点、炉のど真ん中、患難時代の中間時点のど真ん中で、忌まわしい荒廃が行われ、それが救いに繋がります。シャデラク、メシャク、アベデ・ネゴ同様、燃え盛る炉の中で、イスラエル全家が救われます。そしてさらに良いのが、これを最後にもう終わりますからね。ダニエルはそこにいません。が、戻ってきます。私たちがイエスと一緒に戻ってくるのと同様に。そう、どういう仕組みかという、携挙は、イエスが私たちのために来られる。再臨は、7年の患難時代後、イエスは、何万人ものご自分の花嫁と一緒に来られる。お～それだけでも。預言的類型論は、試練のただ中にあるすべての人にとって励みになるはずで。神はあなたをその炉におかれ、神は炉の中であなたとともにおられ、あなたをその炎の炉から救い出してください。

最後の一つ、私は自分の人生で、多くのつらい試練とともに学んでいます。時にそれは同時進行です。私が何を言いたいかわかりますか？ こんな風です。試練の中において、ボ～ン！！別の試練がやって来る。うおっ、うおっ、うおっ、うおっ、みたいになる。主よ、何をしておられるのですか？ 私はもう試練の中にいるのに。ダメ！予定変更が必要です。私が何を言っているかわかりますか？ 試練の方は、

「いいえ、予定変更じゃないですよ。私は時間どおりです。」そして、上からどんどん違う試練が与えられる。そうすると、「うわお～～～！！」そして、合計7つの試練が同時にやって来る。こうなります。

「もう終わりだ。私は乗り越えられない。」「お出来になる神にさせていただかないと。」でも神がなさらないなら、主の御名に祝福あれ。主は与えられ、主は取られる。主の御名はほむべきかな。(ヨブ 1：21)

でも、これが終わり方だ。だから、♪思い出をありがとう♪ 若い人はわからないでしょうけど、ボブ・ホープの歌です。

私のポイントは？ 私のポイントを言って締めます。複数の試練は、大変強烈です。しかし、私が学んでいることのひとつは、二度とそのような経験をしたくありませんが、神がそのような激しい試練を通して、してくださったことは、この世の何ものにも代えがたいのです。事実、私がこう言う意味が分かる人もおられるでしょうけど、実際にその燃えるような試練を神に感謝している自分に気づくはずで。なぜなら、神はあなたの中で、あなたを通して、あなたのために、その苦難の燃え盛る炉でなければ、決してなし得なかったことをなさったからです。おお、それは恐ろしく震え上がるほどだったけれど。どれほど震え上がるか過小評価したくありません。3人は人間だったんだから。僕らはあの炉の中へ。アベデ・ネゴ。(JD：韻を踏んでいる。)

「分からないけど、僕らは眠りにつく（死ぬ）。火の中へ。」彼らはそれを知っていたに違いありません。こうではありません。彼らは縄で縛られる前から、飛び跳ねて、「さあ、僕たちを入れて～。ショーを始めよう。きっと熱いだろうね。煙が立つ熱さだよ。」雑に表現して、やり過ぎなのは分かっています。でも、言いたいことはわかるよね。あなたは、その激しい試練を神に感謝することになるでしょう。その激しい試練で神がなされたことの故に。心に刻んで、元気を出して下さい。カポノ、上がってきて下さい。締めくくります。ご忍耐に感謝します。ご起立ください。おお、何という章でしょうか。なんと、なんと、なんと！！あと1時間は話せますよ。いや、皆さんご存知なのを知ってるから。でも、、、祈りましょう。

主よ、ありがとうございます。ここにはたくさんものがあります。今夜は持ち帰りたいものがたくさんありますが、聖霊にそうしていただく必要があります。なぜなら、聖霊がそうしてくださらない限り、私たちはここから学び、自分の人生に適應できるすべてを持ち帰れません。私たちは、、、おお、忘れがちだからです。特に、いわゆる戦いの熱さ、炎のような試練の中にいる時に、パニック状態になり、震えて恐怖でいっぱい、パニックに陥ります。でも、あなたはそこにおられます。あなたは私たちを救い出して下さいます。あなたはいろいろなことをしてくださっていて、私たちはこのことから抜け出せるのであり、私たちには焦げた煙の匂いもなく、何の害も及びません。主よ、このことを、特にこのようなことの真っ只中にいる人々に思い出させてくださいますか？ 悪化の一途をたどっています。絶望的にしか見えません。主よ、絶望した者たちに希望をもたらし、落胆している者たちを励ましてください。主よ、あなたの御言葉に感謝します。この章をありがとうございます。凄いです！ 私たちはあなたをととても愛しています。イエスの御名によって、アーメン。

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7